

平成30年度  
第1回横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証有識者会議 事業効果検証シート(一覧)

①「地方創生拠点整備交付金(平成28年度からの繰越事業)」を活用して実施した事業(2事業)

No	① 交付対象事業の名称 事業概要	③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業終了後における実績値		⑤ 外部有識者からの評価		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
		② 実績額 (単位:千円)	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	<b>増田まんが美術館魅力アップ事業</b> <b>■増田まんが美術館大規模改修工事</b> ・建築、機械設備工事、展示、外壁、外構工事 ・施設全体を「まんが美術館」に特化し魅力向上を図る <b>■マンガ原画収集</b> ・大部数収集 約4万枚 <b>■原画アーカイブ</b> ・収集した原画を適正に保存するとともに、マンガ原画をデジタルアーカイブ(画像データ)し恒久的に保存 <b>■移動特別企画展及びPR</b> ・市内外特別企画展開催 <b>■官学連携イベント(マンガWS)</b> ・市内外会場	453,825	増田まんが美術館入込客数	0	人	平成30年3月	0	・マンガ原画収集およびアーカイブについては、当初計画を上回った	総合戦略のKPI達成に有効であった	・オープン後は施設のみならず「増田の町並み」と一体的な誘客活動PRをすべき ・市内外に施設が広く認知される取り組みを望む ・委託先が自立運営できる仕組みづくりを構築すべき	事業の継続	<b>■増田まんが美術館の大規模改修工事</b> ・11月30日までにすべての工事を完成予定 ・プレオープン:2019年4月20日予定 ・グランドオープン:2019年5月1日 ・漫画家等関係者を迎えオープニングイベントを開催予定 <b>■マンガ原画の収集保存及び企画展等</b> ・マンガ原画約4万点を収集予定 ・市外において移動特別企画展及びリニューアルオープンPRイベントを開催予定 ・マンガWSを開催予定(年度内に3回開催)
		収集漫画家数	170	人	平成30年3月	184	・移動特別企画展において入場者(延べ21,274人)に大いにPRすることができた					
		収集原画枚数	85,000	枚	平成30年3月	167,761	・マンガWSを開催(参加者:延べ65人)					
2	<b>山内南郷コミュニティセンター整備事業</b> <b>■現存する山内学習交流センター(昭和34年建築)を</b> 解体し、新たに南郷コミュニティセンターを建築	56,713	山内学習交流センター解体	完了	-	平成30年3月	完了	総合戦略のKPI達成に有効であったが、事業内容の見直し余地有	・拠点となる施設を活用しながら、地域共助組織が中心となり、支え合いのまちづくりを目指してほしい ・雪下ろしで使用できる安全対策備品を貸出できるシステムを構築してほしい ・施設の有効利用を望む	事業の継続(施設の有効利用)	<b>■地域コミュニティの維持向上、共助の推進、伝統行事の継承等を行う上で必要な拠点施設として維持する</b> <b>■共助組合の先進地であることから、今後の施設運営にあたっては、指定管理制度の適用も視野に地元住民と協議する方向で進める</b>	
		横手市山内南郷コミュニティセンター建築	完了	-	平成30年3月	完了	・交流センター解体、コミュニティセンター建築が予定通り進んだ ・自主防災活動への参加に関しては参加率向上への取り組みに課題を残した					
		自主防災活動参加率	17.0	%	平成30年3月	13.0						

②「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に当初から掲載されている市単独事業(4事業)

No	① 事業の名称 事業概要	② 実績額 (単位:千円)				③ 本事業における重要業績評価指標(KPI) 指標 指標値 単位 目標年月				④ 本事業終了後における実績値 実績値 事業効果		⑤ 外部有識者からの評価 事業の評価 外部有識者からの意見		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針 今後の方針の理由	
		1	<b>就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業</b> ■市内の企業・求人情報等を発信するポータルサイトを運営	4,400	若年者等人財育成・地元定着支援事業を活用し資格取得等した人数(補助対象人数) 38 人 平成30年3月	62	・資格取得に関しては利用者数が大幅に上回る結果となった ・サイト登録者業者への周知不足であった ・インターンシップ希望者への周知方法について再検討必要	総合戦略のKPI達成に有効であったが、事業内容の見直しが必要	・他自治体や企業が同様のシステム等を構築している中で、選択してもらうための工夫が必要 ・若年者にターゲットを絞り、高校生等が地元を離れる前に様々な手法で情報提供すべき ・システムが就職に結びついた実績を把握できないため、本事業が有効であるか否か判断できない	事業の継続(周知徹底およびシステム内容検討)	■市内企業における労働力確保や雇用ミスマッチの解消、若年者の移住・定住促進を図るため、企業訪問時の周知や市内企業に勤務する若年者へのインタビュー掲載、掲載企業へのフォローアップ実施によるサイトの周知並びに更なる魅力のあるサイト構築に努める				
2	<b>横手市起業家発掘事業</b> ■県外在住のしごとを創り出せる起業家の移住促進及び伴走型経営支援による起業家の育成	10,869	起業を考えている方が相談に来た件数 42 件 平成30年3月	154	・起業相談件数が大幅に増加した結果、実施の起業に結びついたが、UIJターンによる起業には結びつかなかった	総合戦略のKPI達成に有効であったが、UIJターン起業部分の見直しが必要	・「起業家発掘」という言葉が硬く感じるため、別の表現を望む ・起業も大事だが、事業承継についての施策も望む ・法人立上げに限らず個人起業も大事 ・学生に対し起業のノウハウを学ぶ場を設けることを提案する	事業の継続(UIJターン起業内容検討)	■UIJターン起業家の起業およびサテライトオフィス誘致については実績がなく廃止することとし、地域内の起業家人材の発掘及び育成に注力する ①地域の中で事業を起こす仕組み ※E-ラーニング、事業創りセミナー ②ビジネスを構築していくためのスキルを提供するプログラムの実施 ③経営ノウハウ提供、メンタリング ※伴走型支援						

3	<b>国際的産学官連携モデル事業</b> ■大同大學生による企業研修 (市内企業4社が1か月間受入) ■大同大學生によるSNSを活用した情報発信 (中国語サイト等の活用)	8,113	台湾から秋田県内への観光客数の10%が横手市を訪れること	1,500	人	平成30年3月	2,344	・近隣のチャーター便の増が本市への台湾観光客数の大幅増につながった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・市内施設および道路標識など、多言語に対応した案内板の設置を望む ・事業を継続させるためには双方向でなければならぬと感じるため、高校生の修学旅行先を希望制とし台湾となるように働きかけを願う ・姉妹都市宣言してはどうか	事業の継続	■産業・学業分野の取組においては、「目標とする指標をどこに求めるのか」、「何をもって成果とするのか」を明らかにしていく必要がある。 ■現時点では、産業部分では職場体験(インターン)の事業による外国人観光客の受入体制の向上、学業部分では保育園での語学習得・異文化交流を実績・成果と捉えており、今後も事業を継続する
			学生のインターンシップ(職場体験)、ワーキングホリデー受け入れ人数	5	人	平成30年3月	5	・市の魅力情報を台湾学生がSNS等で発信し、広くPRすることができた				
4	<b>三世帯同居等促進住まい支援事業</b> ■三世帯同居や近居を促進するため、子育て世帯の住宅等の購入やリフォーム等の支出に補助金を支出	7,402	年間婚姻数(総合戦略基本目標:秋田県衛生統計年鑑ベース)	360	組	平成30年3月	305	・当制度を活用した同居、近居により、子育て世帯が持つ負担を親世帯とともにシェアし軽減することにつながった	総合戦略のKPI達成に有効であったが補助要件を再考	・補助要件で「現在2km以上離れているところから同居・近居する場合」とあるが、2km要件を再検討してはどうか ・当補助金についてもっとPRすべき	事業の継続	■三世帯同居、近居促進のため当制度の周知徹底を図る ■利用者アンケートを実施し、本制度の有効性を検証し、より効果的な制度につなげていく